



できることから



ONE!

すすめ、JA自己改革。

正組合員の皆さまへ

みらいの農業のために、地域社会のために。

いま、わたしたちJA北九は

「自己改革」を進めています。

わたしたちが取り組んでいるのは組合員一人ひとりの声、

それぞれの地域のニーズを大切にしながら

知恵を出し、対話を重ね、汗をかく、実りのある改革です。

その確かな歩みを進めるために、

まず、できることからプラスONE。

JA北九は、ひとつとなつて

「地域になくてもならないJA」を目指します。

どなたでもご利用いただけます！

JA北九管内 事業所MAP

本店

本店には経営企画・総務・営農・経済・地域組織・金融推進・金融業務・監査の8つの部署があり、皆さまがJA北九をよりスムーズに利用しやすいよう各事業の運営に努めています。

金融店舗

23の支店が、組合員・地域の皆さまの暮らしを支えます。信用事業・共済事業などを通して、地域に根差した相互扶助を実現しています。

農産物直売所

JA北九には7つの直売所があります。直売所では管内で栽培された朝採れ野菜を中心に加工品や精肉、鮮魚を販売。周年祭や収穫祭など、イベントも盛りだくさんです。

葬祭場

6つの斎場があり、安らかな旅立ちをお手伝いさせていただきます。近年ニーズが高まっている家族葬を始め、故人様やご家族の皆さまに寄り添った葬儀で安心をお届けいたします。

営農経済センター

家庭菜園用品から専業農家さん用の資材・小型農機具まで、営農資材を幅広く取り扱っています。営農相談にも応じられる地域農業の拠点です。

購買店舗

遠賀、若松、八幡、小倉に計5つの購買店舗があり、肥料など農業を営むための生産資材や、食品・日用雑貨品など生活に必要な生活資材を幅広く取り揃えております。

農機センター

管内4か所の農機センターでは、農業機械のプロたちが修理・点検・販売など農機具全般を取り扱っています。ニーズに合わせて出張点検・修理も行っています。

燃料センター

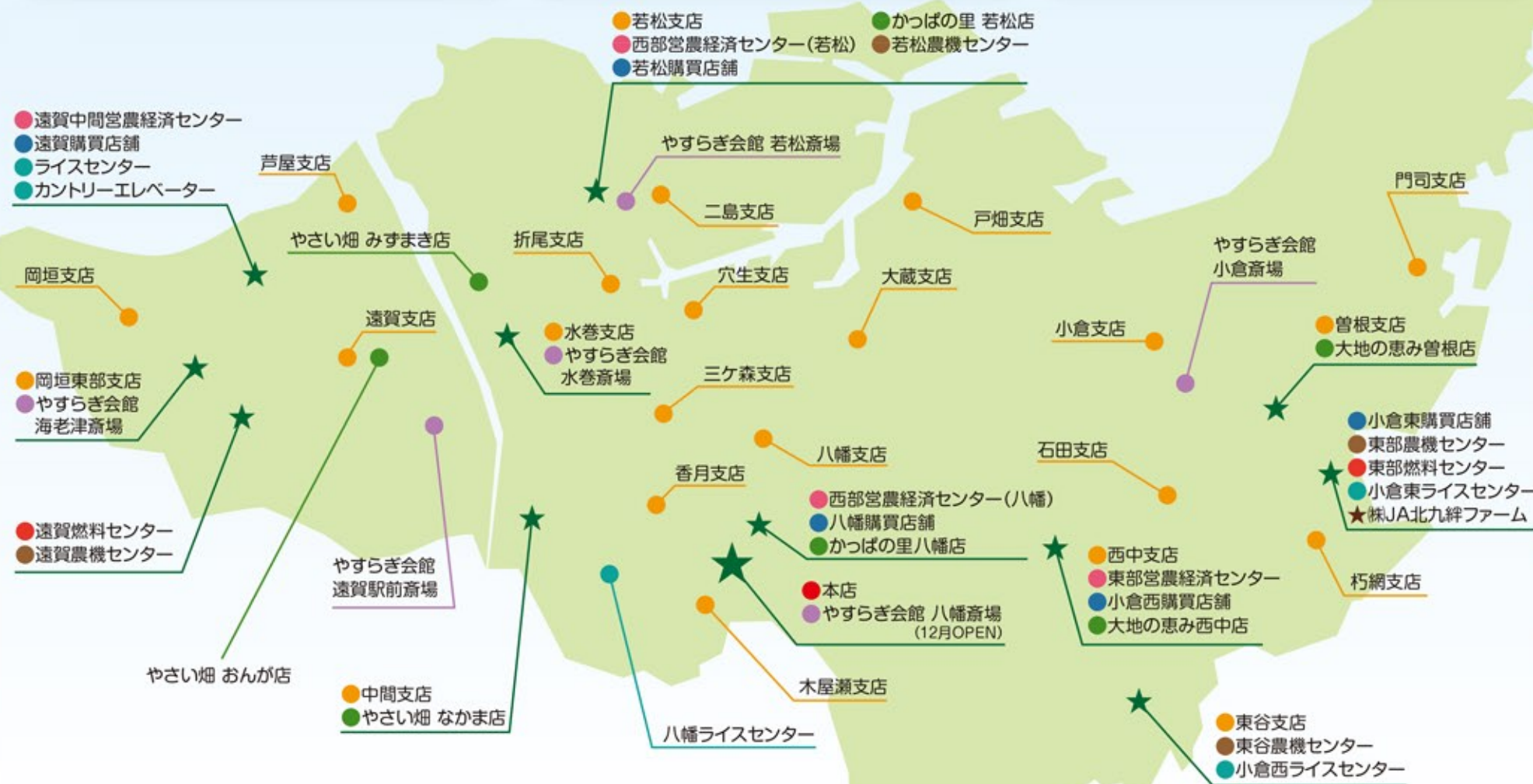
LPGガスを始め、営農燃料を取り扱っています。生活に欠かせないものだからこそ、安全・安心はもちろん、皆さまとのコミュニケーションを大切に、供給、保安、点検を行っています。

ライスセンター カントリーエレベーター

収穫したお米を、最適な水分量を維持したまま貯蔵しているのがカントリーエレベーターです。日本の農業にも暮らしにも欠かせないお米を美味しく食卓に届けることはJAの大切な使命であり、事業の基盤です。

他にもこんな施設があります！

- ★集出荷場・選果場
- ★農業倉庫
- ★加工場
- ★(株)JA北九絆ファーム
- ★育苗センター
- ★不動産センター
- ★貸農園管理棟



技術指導や出荷、資材購入、資金の借入れなど、組合員の皆さまが営農に取り組む際に必要なあらゆることを幅広く支援し、農業生産の拡大に努めています。

大学、行政とも連携し、耕作放棄地を利用した芋焼酎造りに取り組みました♪



新たな農業者育成のため、研修生を受け入れています!!



一層利用しやすく♪直売所をリニューアルしました!



農業者の暮らしを守ることは、地域全体を守ることに繋がります。資材のコスト削減や情報発信、作業負担の軽減などを始め、農業者の所得を上げる取り組みを続けています。

燃料事業では免税軽油で費用削減に努めています!!



生産者の負担軽減と品質アップのため、パック詰め作業を受託しています!



イチゴ、イチジク、びわのパック詰めを受託しています!

お役立ち情報がつまった「経済部だより」を定期発行しています♪



美味しい農作物をつくる手助けをしています!

TACによる個別訪問相談

TACは、地域農業の担い手に向くJA担当者。「とことん、会って、コミュニケーション!!!」を合言葉に、農事組合法人や大規模経営農家を個別訪問し、経営改善サポートに取り組んでいます。



ハダニ殺虫システムの導入

炭酸ガスによるハダニ殺虫システムを導入しました。これにより、イチゴの管理過程における農薬使用回数を減らすことができます。また、品質や数量、大きさの安定が見込まれます。



グローバルGAP

平成29年度、若松潮風キャベツ®生産者4戸で県内JA初となるグローバルGAP認証を取得しました。農産物の付加価値を高め、安全・安心な出荷に取り組んでいます。

※グローバルGAPとは、GAP(適正農業規範)の世界標準で、農業の目に見えない価値を「見える化」する取り組みです。



JAは、地域に根差してこそその協同組合です。そこに根付く文化を大切にし、組合員・地域の皆さまとともに地域の発展と活性化を目指しています。

青色防犯パトロールで地域の安全を守る取り組みを続けています!



農業体験を通して子どもたちに食と農の大切さを楽しく感じてもらう取り組みをしています♪



直売所の周年祭やイベントは大人気です!



支店では、地域の清掃活動やイベントへの参加を通して地域を大切に思う気持ちを皆さまと共有しています!!



農業者の安心が地域の安心に繋がります!

肥料価格の据え置き

肥料価格が上昇する中、主要品目の価格を据え置き、段ボール等の出荷資材の価格低減にも取り組みました。



修理対応・サービス向上

農機事業は要員を増やし、修理などへの対応、サービス向上に努めています。また、作業工賃の低価格化にも取り組んでいます。



食を通じて地域の皆さまに安全・安心をお届けします!

残留農薬検査

安全・安心な農産物をお届けするため、農産物の残留農薬検査を行っています。管内に暮らす約108万人の食を支え、守るという使命のもと、厳しい基準をクリアしたお米や野菜を提供しています。



移動購買車による買い物困難者への支援

JA北九管内における70歳以上の割合は22.3%。公共交通機関だけでは移動が困難、または不便な地域も多数存在するため、移動購買車によって日々の買い物負担を少しでも軽減していただこうと取り組んでいます。



JAは協同の力で運営する組織です。地域農業を守る農家組合員の皆さんを、地域の皆さまが農作物を買ったり、食べたり、JA事業を利用することで力強い応援団となり支えています。私たちJA北九は、農業とくらしを包括的に守るために総合事業を展開しています。JA北九はこれからも、管内に暮らす約108万人の命の源「食と農」を守るという使命感を持って日々取り組みを進め、必要とされるJA像に向かって邁進していきますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

JA北九が 取り組んでいる自己改革とは、

政府が推し進めている農協改革に対して、JAグループが一丸となり自己改革の取り組みを行っています。

JA北九でも、総合事業を営むJAとして「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱に、食と農を基軸とする地域に根差した協同組合づくりに向けて取り組みを実践しています。

私たち役職員は、正組合員・准組合員の皆さまと共に、一体となった事業運営を目指し、「地域になくてはならないJA」として期待に応えるように、自己改革に取り組んできました。

これまでも、これからも、地域の皆さまから真に必要とされる組織であるために、様々に取り組んできた実績を報告させていただきます。

